1．意　見

私は、名寄川を家の窓から眺めることができる場所に住居を持って14年程になります。

たまに、大雨が降ると川の護岸ブロックの枚数を数え、水量が増えていると心配しているのが大変なことでもいつも気にしています。近年、大雨の回数が大変多くなっていることに不安を感じています。また、水位が過去より増大し昨年は、いつも見ていた護岸ブロックを越えてしまいました。幸い大きな災害にはなりませんでしたが、近年の状況から大きな災害につながる大雨もいつ降ってもおかしくはない状況です。名寄川沿線の住民の生命、財産を守るため、風はサンルダム建設は勿論のこと最善の治水対策を実施し安心安全な地域社会づくりに貢献して下さい。